

82.7.1

No.1083

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
 (鉄電)二九三五〜六(公衆)三三三三〜三三三七

三里塚・ジェット闘争貫徹! 「国鉄35万人体制」粉碎!  
**ここまで迫ってきた戦争の足音! 弾薬** その2  
 検閲強化で、侵略と戦争を賛美する教科書へと全面改悪

**軍事大国化・改憲=戦争体制づくりを許すな!**  
**七・四三里塚闘争に続き、反撃の突破口を**

恐ろしい時代に入っている。この新聞の記事を見て欲しい。子供たちが使用する教科書が来年四月から、こんな風に変られるというのだ。支配者たちは「御国のため、天皇のために進んで銃をとって侵略戦争に出ていく」若者をつくらうとしていることは明らかだ。\*\*\*\*\*

経済的・政治的に何もかもゆきづまっていた支配者共は、世界の至る所で、問答無用の武力弾圧・侵略戦争にうったえ、何万人・何十万人という人民を現に、今も虐殺している。マルピナスの小島を植民地保有せんがために大軍をさしむけ侵略戦争にうったえる英帝国主義、中東軍事支配のためには強盗のようにレバノン侵略戦争・パレスチナ人民への大量無差別虐殺を強行して恥じないイスラエルと米帝国主義。——今や、一切を「軍事=戦争」でしか展開することが

できなくなってきたら、いつの日か、戦争の時代。この中で、世界中で一番焦りにかりたてられているのが日本の支配者である。何をさておいても「実際に戦争のできる体制・人づくり」を急がなければと、なりふりかまわず突進しているのだ。九〇日間という大巾会期延長してまで「参院全国区制廃止」↓小選挙区制↓八三年ダブル選挙自民圧勝↓一気に憲法改悪へのレールを敷こうという狙いにあわせて、軍事力の要=巨大軍事空港の早期建設のためになにがなんでも「八三年、三里塚=期着工」を至上命令とするに至っている。

文部省 高校社会中心に検定強化  
 「侵略」表現薄める  
 古代の天皇にも敬語

**教科書さらに戦前復権へ**



**高校教科書 厳しい検定**  
 自衛隊や憲法、公害  
 会社側自主規制の傾向



北方領土に必ず触れる  
 自衛隊成立の根拠明記  
 明治憲法の長所も記せ  
 中国侵略でなく「進出」

国民意識統合ねらう  
 「検定の密査化」も着々

教科書で編者などの話を総論として、よくに指示の多かった日本史、世界史、政治・経済で、各教科書会社には共通してチェックされた内容の特徴は①戦前の日本の「侵略」行為の記述を極力薄める②帝国憲法(明治憲法)の「民主性」を書く③天皇には奈良時代以前にさかのぼって敬語表現を使う④自衛隊の成立は、自衛隊法によっている⑤北方領土の領有権主張⑥国民の義務の強調⑦大企業、資本主義の擁護——など。昨年の「現代社会」に適用した検定尺度を用い、その定着、徹底を図ったとみられる。このうち、「侵略」にからんでは「進取」という言葉に代わり、「討伐」「出陣」「鎮圧」「出兵」派遣、駐